

台風や地震に備えて

マンション共助ガイド



もっと“ハートふる”な明日へ。

株式会社ライフポート西洋





マンション防災に、「共助」でさらなる安心を。

自然災害は、ある日突然、私たちに降りかかってきます。

そんなとき、住民のみなさまを安心・安全で支えることがわたくしどもライフポート西洋の責務です。

しかし、道路の寸断など、インフラが機能しなくなるような大規模災害の場合、すぐに対応できないケースも考えられます。

また、警察、消防救急、自衛隊などの「公助」の支援も、即座には届かない可能性があります。

被害を最小限にして、命と生活を守るために最も重要になるのは、
同じマンションに暮らす住民同士の「共助」に他なりません。

マンション内での「共助」を発展させるためには、

「管理組合」の主導で住民同士の合意を形成し、事前に準備しておくことが重要です。

本ガイドは、その一助としてお役立ていただくために作成しました。

ぜひご参照いただき、必要に応じて、

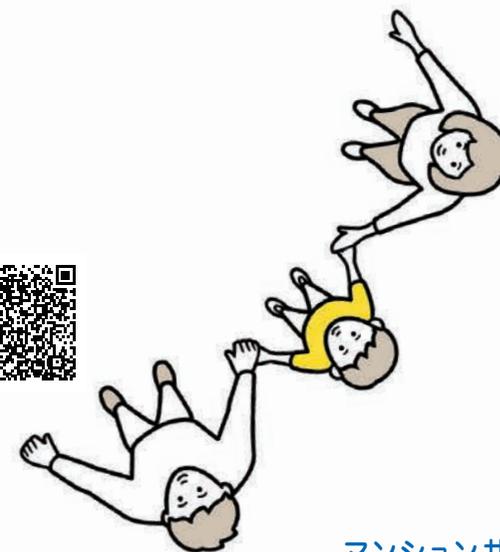
お住まいのマンションの環境・設備に合わせたカスタマイズをしてご利用ください。

また、住民の皆さまが「各家庭」で災害に備えるための

防災ハンドブック「災害に負けないマンションライフ」を弊社HPで公開中です。

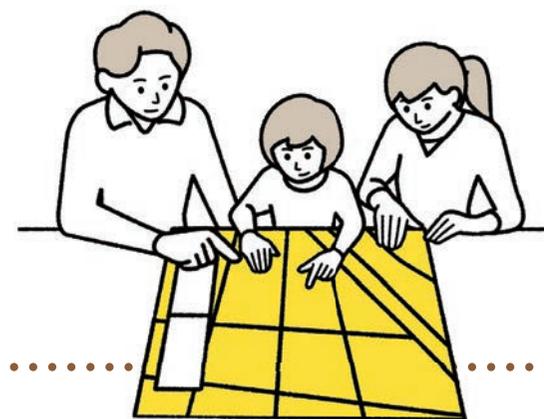
右のQRコードからダウンロードしてご参照ください。

ファイルサイズが大きい(8.5MB)ため、Wi-Fi環境でのダウンロードをお勧めします。



目次

台風・気象災害編	01
1/対象となる台風等(気象災害)の規模判断と行動原則	02
2/日常の備え	03
3/台風の接近・上陸1~2日前における行動	04
4/台風の接近・上陸時における行動	05
5/台風の通過後における行動	06



地震編	07
1/大規模地震発生時の行動原則	08
2/大規模地震対策としての日常の備え(各家庭)	09
3/大規模地震対策としての日常の備え(管理組合編)	11
大規模災害発生時の初動マニュアル	13
大地震発生時にまずやるべきこと	14

付録 添付資料：災害時掲示ポスター3種／ガスメーターの復帰方法／安否確認シート

台風・気象災害編

近年の台風は大型化し、それによる風水害は拡大しています。
台風や豪雨は、事前にある程度の予測が可能な場合が多くあります。
平時に非常用の備品や緊急体制などの準備を整えておくことで、
台風が接近してくる前から通過後までの対応や行動を、
適切に行える可能性が高くなります。

本ガイドでは台風への基本的な備えや行動指針についてまとめています。
速やかに適切な行動がとれるよう訓練を行ってください。

※台風が大規模災害に発展し、一時的に避難生活が必要な場合や、
災害対策本部の設置を要する場合は、本ガイド13ページを参考に、
組織的な活動を進めてください。



1 対象となる台風等 (気象災害)の 規模判断と行動原則

自治体は、気象庁の防災気象情報や災害の規模によって警戒レベル1～5の注意情報を発表します。その種類で災害の規模や危険度を判断し、マンション内で情報を共有して避難行動を取ってください。

また、災害の状況によっては警戒レベル発表を待たずに避難行動を開始してください。

「キキクル」を活用しましょう。

気象庁では災害の危険度をリアルタイムに確認できる「キキクル（危険度分布）」をホームページで公開しています。安全なうちに避難するために「キキクル」の情報をお役立てください。



「キキクル」を使いこなすには？

NHKのウェブサイトでもキキクルの使い方がわかりやすく紹介されています。



警戒レベル 5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保／既に安全な避難ができず命が危険な状況。緊急安全確保の発令を待たずにすぐに命を守る行動を！
警戒レベル 4	危険な場所から 全員避難	避難指示／危険な場所からすぐに全員避難してください。
警戒レベル 3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難／高齢者、要配慮者などはすぐに避難。その他の人も自主的な避難行動を。
警戒レベル 2	自らの 避難行動を確認	ハザードマップ等で自宅の災害リスクを再確認。避難情報の把握手段を再確認。
警戒レベル 1	災害への心構えを高める	

2 日常の備え

災害に備えて、管理組合で協議すべき要素をまとめました。理事会や総会等で議題としてお取り上げください。



1 注意喚起文の準備	共用部に掲示する注意喚起文（掲示物）を用意。掲示のタイミングを取り決め。（添付①～③）
2 避難所等の確認	マンション周辺の指定避難所等の再確認に加え、移動の基準、移動ルートを取り決め。
3 地域との連携確認	自治会、町内会と災害時の対応内容について協議、確認。
4 浸水対策	止水板（防潮板）、土嚢等の設置基準や方法を確認の上、保管。
5 エレベーター	エレベーター一時停止の決定者、決定時期、決定基準とマンション内の告知方法を取り決め。（添付②）
6 地下ピットの浸水対策	機械式駐車設備がある場合、「使用禁止」「車の外部避難」などの方針、告知方法を取り決め。（添付③）
7 バルコニー等の対策	バルコニー、屋上の排水ドレンのつまり防止対策および物の飛散防止対策の告知時期、方法を取り決め。（添付①）
8 その他	その他浸水・強風被害を想定した対策を協議、必要な準備を実施。
9 訓練の実施	災害時の円滑な対応、行動のため、4～6については防災訓練を実施。

3 台風の接近・上陸 1～2日前における 行動

ライフポート西洋では、できる限り事前に右記の対策を進めますが、台風の接近が早い場合や緊急の場合、居住者の皆様にて行っていただくことも想定してください。ご協力をお願いいたします。



土嚢などは、保管場所から出し、共用部分など多くの住民から見えるところに準備。

<p>1 掲示板等への掲出</p>	<p>掲示板等に注意喚起文を掲示。(添付①～③)</p>
<p>2 作業中止の告知</p>	<p>保守点検、清掃作業が中止(延期)される場合はその告知を実施。</p>
<p>3 共用部設置物の移動</p>	<p>共用部に置かれている造作物などを移動。(添付①) (バルコニーは専用使用部分ですので、飛散のおそれのあるものは各戸にて宅内に取り込む必要があります)</p>
<p>4 資機材の搬出、準備</p>	<p>止水板(防潮板)、土嚢等の動作確認及び設置準備。</p>

*周辺に河川等がある場合、マンションへの浸水被害に備えて、事前に機械式駐車設備の利用者に対して車の安全な場所への移動のお願いを告知。

4 台風の接近・上陸時における行動

警戒レベル4-5の台風接近・上陸時には、管理会社の従業員にも命を守る行動が求められます。場合によってはライフポート西洋がマンションへ急行できかねる場合がありますので、居住者の皆様のご協力をお願いいたします。

停電でもないのに、なぜエレベーターを停止させるのか？

エレベーターがご上・かご内の制御装置に水がかかると運行を停止してしまいます。これによる閉じ込め事故等を防止するためです。

<p>1 エレベーターの一時停止措置</p>	<p>浸水の可能性がある場合は、以下の停止操作と告知を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①エレベーターを最上階まで上げ、カゴ内の行先ボタンの下に設けられた操作ボックス内のスイッチで停止させます。 ②「エレベーター停止中」の掲示を行います。必要に応じて各階に表示を行います。(添付②)
<p>2 機械式駐車設備の措置</p>	<p>台風により地階の浸水や強風被害が発生する可能性がある場合は、以下の措置を行います。必要に応じて、エレベーターホール等に表示を行います。(添付③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①屋内の場合：インターロッキング解除キーを使用して、駐車設備をすべて最上段まで上げます。 ②屋外の場合：強風被害に備えて、インターロッキング解除キーを使用して機械式駐車設備をすべて、または一段だけ上げます。

5 台風の通過後における行動

台風通過後は、ライフポート西洋が可能な限りスピーディに被害の有無について順次確認作業を行います。すぐに対応できない場合もありますので、居住者の皆様にご理解とご協力をお願いすることもございます。



<p>1 弊社への連絡</p>	<p>被害が発生した場合には、弊社に被害状況を連絡し、対応を相談してください。</p>
<p>2 資機材の撤収、設備の復旧</p>	<p>止水板（防潮板）、土嚢等の撤去を行います。エレベーター、機械式駐車設備の通常運行への復旧等については、弊社は緊急性の高い建物から順次対応いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
<p>3 停電発生時の対応</p>	<p>停電時に、エントランスのオートロックが機能しない場合は、防犯対策のため、常時開放をしないよう呼びかけます（他の出入口がある場合は、メインエントランスを利用しないようにします）。</p>

地震編

世界で発生するマグニチュード6以上の地震の20%は、日本で発生しています。地震は被害が比較的大規模になりやすく、事前に予測することは、困難です。いざ地震が発生した時に適切な行動がとれない事態を避けるために、日頃から準備や想定訓練を行うことが重要です。

本ガイドでは基本的な備えと対応、個人の行動、さらにマンション居住者全体での行動についてまとめています。速やかに適切な行動がとれるよう訓練をしてください。



1

大規模地震発生時の行動原則

地震について

気象庁の震度階級は「震度0」「震度1」「震度2」「震度3」「震度4」「震度5弱」「震度5強」「震度6弱」「震度6強」「震度7」の10階級で表します。ただし、緊急地震速報は予測のため、実際と異なる場合があります。

震度が大きくななくても管理組合（理事会、防災委員会等）の判断により、周辺地域も含めた被害が大きい場合は緊急時と判定し、後述の「初動マニュアル」に従った行動をしてください。



事前に家族間で、地震や津波が引いた後の集合場所や避難場所を決めておくことで、不在の家族がいても各自が最適かつ迅速な避難行動ができます。「家族を迎えに行く」などの行動は避難を遅らせ、津波に巻き込まれる可能性を大きくしてしまいます。津波は予想外に大きくなったり予想到達時間よりも早く到達する可能性があるため、「津波注意報」、「津波警報」のレベルに関わらず、速やかに避難行動を取ってください。

津波について

気象庁は、地震が発生してから約2分以内を目標に、「大津波警報」「津波警報」または「津波注意報」を津波予報区ごとに発表します。地震発生後のマスコミ報道、インターネット、各種災害情報サービスなどにより津波の到達可能性を判断してください。到達する可能性がある場合は、周辺の高所やマンション内の上階の安全な場所に避難してください。

※沿岸部でなくても、津波の危険性が予測されている場所もあります。事前に自治体のハザードマップなどを確認しておいてください。

2 大規模地震対策 としての日常の備え (各家庭編-1)

マンションは、戸建てにはない様々な施設や設備などの資産を共有しております。地震に対して、マンション全体と各家庭（住戸）では、想定される被害も、その被害を最小限に抑えるための備えも異なります。ここでは、各家庭（住戸）での備えと管理組合での準備を分けて説明しますので、ご参照の上、各々で準備を進めてください。



生活必需品や医薬品の備蓄は各家庭で。

<p>1 ご自身の安全確保と 宅内の被害防止</p>	<p>①家具、家電の転倒、移動防止対策。 ②窓ガラス、食器棚等のガラス飛散防止対策。 ③室内履き、手袋、懐中電灯等を寝室に準備。 ④通学・通勤路、近隣の危険箇所と迂回路等の事前確認。</p>
<p>2 二次災害の防止対策</p>	<p>①消火器の準備と使用方法の確認。 ②複数の避難口と避難路および使用方法を確認。 ③避難時はプレーカーを落とし、水道・ガスの元栓を閉めることを（開ける方法も含めて）家族で確認、徹底。</p>
<p>3 被災生活への備え (最低3日～7日分、 できれば14日分)</p>	<p>食料、飲料水等の生活必需品は管理組合ではなく、各家庭で備蓄（準備すべきアイテムは、次ページ参照）。</p>
<p>4 安否確認方法の確保</p>	<p>①SNS、災害伝言ダイヤル、災害伝言板（web171）等、複数手段を家族で確認。 ②安否が確認できない場合の集合場所や共通の連絡先を確保し、家族で共有。</p>

2 各家庭で準備すべき アイテムリスト [7日分の例] (各家庭編-2)

水や非常食を管理組合で備蓄しているケースがありますが、食料、飲料水等の生活必需品は、管理組合で備蓄しても消費期限まで放置されることが多く、分配方法やルールも決められていないなど、無駄な備蓄になるケースも見受けられます。管理コストやスペースを有効に使うために、各家庭で備えるべきものと、管理組合として備蓄すべきものをしっかりと協議しましょう。

地震で止まったガスを復帰させるには？

震度5強相当以上の地震を感知するとガスは自動的に遮断されます。復帰は各家庭でガスメーターを操作して行う必要があります。(添付④)
ガスメーターの場所はマンションによって異なります。事前にガスメーターの場所を把握しておきましょう。

<input type="checkbox"/> 飲料水	3人/7日=63ℓ 1日1人当たり3ℓを目安に準備
<input type="checkbox"/> 食料	通常の食料を多めに購入しておき、使用した分を補充するローリングストックを推奨。 非常用食料の備蓄があればさらに可。高齢者、幼児向けの食料は多めの準備が必要(特別食は支援物資が到着するまで時間がかかります)。
<input type="checkbox"/> カセットコンロとガスボンベ	3人/7日=15本 1本で約1時間の燃焼(強火)、1人7日分で5本を目安に準備
<input type="checkbox"/> 災害用トイレ	3人/7日=105回分 1日1人5回分を目安に準備
<input type="checkbox"/> 電気製品と電池	懐中電灯、ヘッドライト、ランタン等の灯り、充電式または電池式のラジオと電池
<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー	可能であれば、より大型のポータブルバッテリー(キャンプなどで使えるもの)。特に医療機器等を自宅で利用している方は必要です。
<input type="checkbox"/> 医薬品	応急医薬品、常備薬(処方箋薬品など、切れると命に係わる医薬品は、事前に医師と相談し日常備蓄として多めに準備)

3 大規模地震対策 としての日常の備え (管理組合編-1)

耐震基準を満たしたマンションは、被害が軽微であれば在宅避難が可能です。その可否を判断するためにも、事前に管理組合としての体制づくり、準備が必要になります。ここでは、管理組合としての準備を示しますので、ご参照の上、準備を進めてください。

災害共助SNS『ゆいぼた』導入で、さらなる安心を。

『ゆいぼた』は、マンション防災専用の災害共助SNS。費用は掛かりますが、マンション全体の安否確認や連絡、情報共有ツールとして便利な機能を備えていますので、導入をお薦めします。



<p>1 安否確認、 連絡手段の 準備</p>	<p>①各住戸向けの安否確認マグネットを配布、災害時は玄関ドアに貼付。 ②発災時に外出中だった居住者の安否確認、連絡手段としてSNS等の利用を事前に取り決め。</p>
<p>2 二次災害 防止の対策</p>	<p>①共用部消火器を準備のうえ、使用方法を確認、周知。 ②マンション全体の避難出口、避難路を確認し、確保。 ③避難時はブレーカーを落とし、水道・ガスの元栓を閉めることを周知徹底。 ④共用部施設の故障時の対応方法を相談、確認（応急修理の可、不可等） ⑤居住者に建築、医療、機械などの専門職従事者がいるかを事前把握。災害時の協力を要請。</p>
<p>3 備蓄資機材の 準備</p>	<p>食料、飲料水等の生活必需品ではなく、マンション全体で利用するものを中心に準備。アイテムリストは次ページ参照。</p>
<p>4 防災意識の 維持向上と 訓練</p>	<p>①定期的な防災訓練：災害時の集合、各係の役割、安否確認～救護搬送等の方法を共有 ②平時の知識・意識向上：地域のハザードマップ、震度予測等危険リスク、防災関連ニュース等の共有／定期アンケート等で居住者の備蓄、準備の状況を把握／定期総会等での防災に関する呼び掛け</p>
<p>5 公助の 関係機関 確認</p>	<p>①地域の病院、避難所、公共機関等の場所と連絡先、発災時の受け入れ態勢を確認 ②発災時の災害対策本部との連携や必要な対応を防災マニュアルに記載</p>
<p>6 その他</p>	<p>①製本竣工図書の保管（修繕復旧に必要。電子データ保管を推奨） ②管理規約等の整備（共用部が棄損した場合の保存行為に関する権限の明示／緊急時の専有部立入りの容認を明示）</p>

3

大規模地震対策 としての日常の備え (管理組合編-2)

管理組合で備蓄すべきものは、基本的に共用部分で使用するものです。個人用の備蓄としっかり切り分けて限りある備蓄スペースを有効にご活用ください。



共用部で使用するものの備蓄は管理組合で。

<p>危険箇所や 連絡の周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 安否確認マグネット <input type="checkbox"/> サイン用品(トラロープ、トラテープ、コーン等) <input type="checkbox"/> 筆記用具(マジック、サインペン等)、紙類(コピー用紙、模造紙など) <input type="checkbox"/> ホワイトボード、簡易看板等
<p>負傷者の 救出や 破損箇所の 補修関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 雨対策、簡易補修用具(養生テープ、ガムテープ、ブルーシート等) <input type="checkbox"/> 救出用具(バール、大ハンマー等) <input type="checkbox"/> 担架、物資運搬具(台車、リヤカー等)
<p>その他の 準備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ヘルメット、軍手等 <input type="checkbox"/> 懐中電灯、ランタン、電池等 <input type="checkbox"/> 救急箱 <input type="checkbox"/> 発電機、燃料、毛布等

大規模災害発生時の 初動マニュアル

大規模な地震や気象災害が発生した場合、
管理組合がリードすべき初動行動を、以下にまとめました。
震度6弱以上の地震発生時や、火災や大規模または被害が大きな気象災害の場合、
本マニュアルに沿った行動をとってください。

耐震基準を満たしたマンションは、倒壊の危険性が低く、在宅避難が可能です。
発災後も避難所に行かず自室での生活を継続することを推奨いたします。
そのためにも、日ごろから家具の固定や災害用備蓄を行うことが大切です。



大地震発生時にまずやるべきこと

大地震発生時には、慌てず落ち着いて行動することが大切です。

平時の訓練などを通してどのようなことが起こるか想像しておきましょう

大地震が発生したら

- ▶ 自分の身の安全の確保
(宅内で頭と身体を守ること)
- ▶ 家族の安否、状況確認、
住戸内の安全確認

揺れが収まり宅内の安全が確認できたら、右記の手順で、マンションの災害対策を進めます。

- 1 住民集合
- 2 災害対策本部の構築
- 3 安否確認・救助活動
- 4 要支援者と負傷者へのケアと協力要請
- 5 共用部分の被害状況および危険箇所の確認
- 6 行政や町会との連携
- 7 防犯活動

各項目の具体的な行動については次ページ以降でご案内します。

1

住民集合

- ▶ 各住戸からエレベーターを使用せずに階段を利用して事前に決めた場所（集会室前、管理室前など）に集合します。
 - ▶ 移動の際に、余裕があれば隣近所の住戸にも声をかけてください。
- ※移動が困難な方は無理に集合せず、隣近所の方にその旨を伝えてください。



2

災害対策本部の構築

- ▶ 集合した居住者でマンション全体のまとめ役を決めます。
 - まとめ役（代表者）には理事長がなります。
 - 理事長不在の場合はその場にいる住民の中で代役を決めます。
 - 優先順位は役員、その他の居住者の順です。
 - 管理事務室前、集会室等に災害対策本部を設置し、まとめ役は本部長として機能します。
 - その場にいる人たちの人数を確認し、できるだけ多くの人数で安否確認を開始します。
 - マンション全体の安否確認、救護等の後にそれぞれに係を割り振り、係ごとの活動を開始するように指揮します。

災害対策本部の組織と各役割

2

まとめ役（本部長）

全体の指揮・運用の決定、まとめ役補佐やその他係と協力し合い、全体の方針をまとめ、最終決定します。

まとめ役補佐

待機・連絡係

まとめ役を補佐して全体の調整をサポート、意見交換し、できるだけ全体の利益になるように調整をします。まとめ役（本部長）が不在の時には代理として機能します。

情報係

災害直後

災害の規模や近隣の被害と交通機関の状況を確認します。

その後

行政からの情報を避難所から入手します。安否確認の状況等も整理し、まとめ役に報告します。

物資・資機材係

災害発生直後は救護活動や被災生活における資機材（担架や懐中電灯、その他）等の配布や管理、不足品の追加購入等を行います。

被災生活が長引く場合は避難所と連携し、食料や支援物資等の運搬等を担当します。

最低必要人数の目安と優先順位（まとめ役以外は兼任可）

優先順位① まとめ役、まとめ役補佐 > 最低各1名

優先順位② 情報係

安否確認などの初動が落ち着いた後は2名以上確保（PCやスマートフォンに慣れた人が望ましい）。特に近隣避難所での情報入手は2名で行動をした方が安全です。

優先順位③ 物資・資機材係 > 最低2名

人数が足りない場合は、落ち着いた後に決めます。（資機材の運搬等もあるので、体力的に動ける人が望ましい）

3

安否確認・救助活動

- ▶ 複数名（2名以上）を一組としてマンション内の安否確認を行います。
- ▶ 可能なら、〇～〇階、〇～〇階のように数班に分けて安否確認を行います。
- ▶ 本部ではまとめ役および補佐が待機し、安否確認シート（添付⑤）にまとめます。

安否確認方法

- ・ 各住戸を訪問し、安否を聞き取り調査します。
- ・ 訪問の際はドアを叩き、居住家族全員の状況を確認します。
- ・ 安否が不明な場合はバルコニー等他の経路も使い、呼び掛けます。

- ★ 住戸内にけが人等がいて緊急性が高い場合、
本部へ連絡して応援を呼ぶとともに、救助用資機材を活用し、
玄関のドアを開けます。

※バルコニーのガラス窓の破壊は、周辺火災による延焼や強風対策のために極力さけて、玄関ドアを優先します。
※安否確認の玄関ドア用マグネットなどが用意されている場合でも、必ず訪問し、家族全員の状況を確認するようにします。



なぜ居住家族全員の安否確認が必要なのか

- ① マンション内で助け合いを行う際に、お手伝いいただける人は多い方が良く、各住戸の状況により、協力をお願いするため。
- ② 被災生活が長期化した場合、近隣の避難所にマンション内避難の人数を申告し、支援物資を人数分確保してもらうことが必要になるため。

4

要支援者と負傷者へのケアと協力要請

- ▶ 活動が困難な災害時要援護者・負傷者は、住戸内が危険な場合、複数名で安全な場所に搬送します。
- ▶ マンション内または近隣で医師、看護師、介護経験者等の協力を要請します。



5

共用部分の被害状況および危険箇所の確認

- ▶ まとめ役およびまとめ役補佐が建物を巡回し、被害状況を確認します。
エレベーター内の人の閉じ込めが無いが、その運行状況、その他の危険箇所を確認し、把握します。
 - ▶ 危険箇所には居住者が入らないようにトラテープや張り紙等をします。
同時に、通信手段が確保されている場合はすぐに管理会社の窓口へ連絡します。
通信状態が悪い、連絡窓口が繋がらない等の場合は、通信・連絡手段が確保されるのを待って連絡します。
 - ▶ 漏水している場合は、水道共用部元栓・各戸元栓の閉栓を行い、排水禁止を呼びかけます。
- ※管理会社も同時に被災している可能性があるため、連絡を受けてすぐには対応できない場合がほとんどです。
緊急度が高いところ、交通手段が確保できるところなどから現地確認がされます。

6

行政や町会との連携

- ▶ まとめ役およびまとめ役補佐は、行政や町会等が行う地域の防犯活動等に協力します。
- ▶ 可能であれば地域の避難所の運営等にも協力することが望ましいです。
被災生活が長期化すると、支援物資の確保、自治体からの情報入手等避難所との連携は欠かせなくなりますので、協力体制を整えておくことが重要です。（連絡係も含め全員で協力しましょう。）

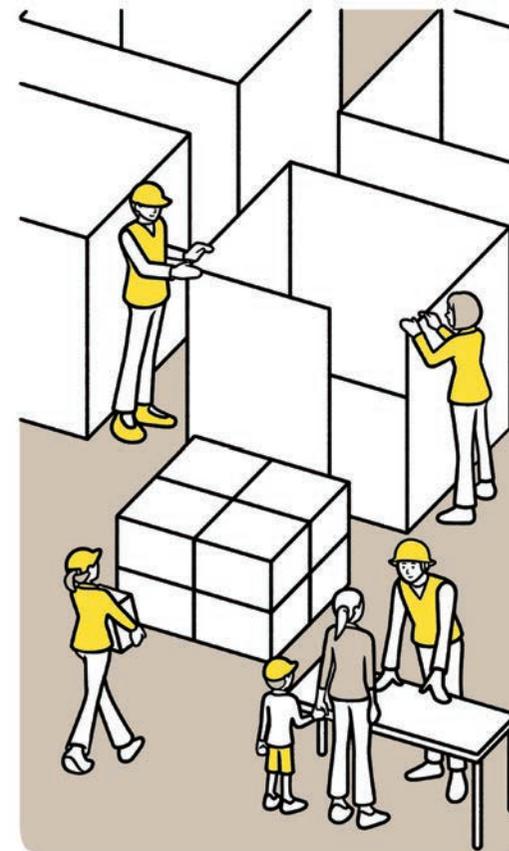
7

防犯活動

- ▶ マンション内の見回りを行い、町内会等が行う地域の防犯活動に協力します。
- ▶ 空き巣が発生するリスクがあるため、戸締りの徹底を周知し、建物内に普段見かけない人を見たときは部屋番号や名前を聞く等、声かけをするようにします。
- ▶ 特に停電時はエントランスのオートロックを常に開放している状態にしないように心がけます。（メインエントランス以外に出入口がある場合は、当該出入口の利用を推奨します）

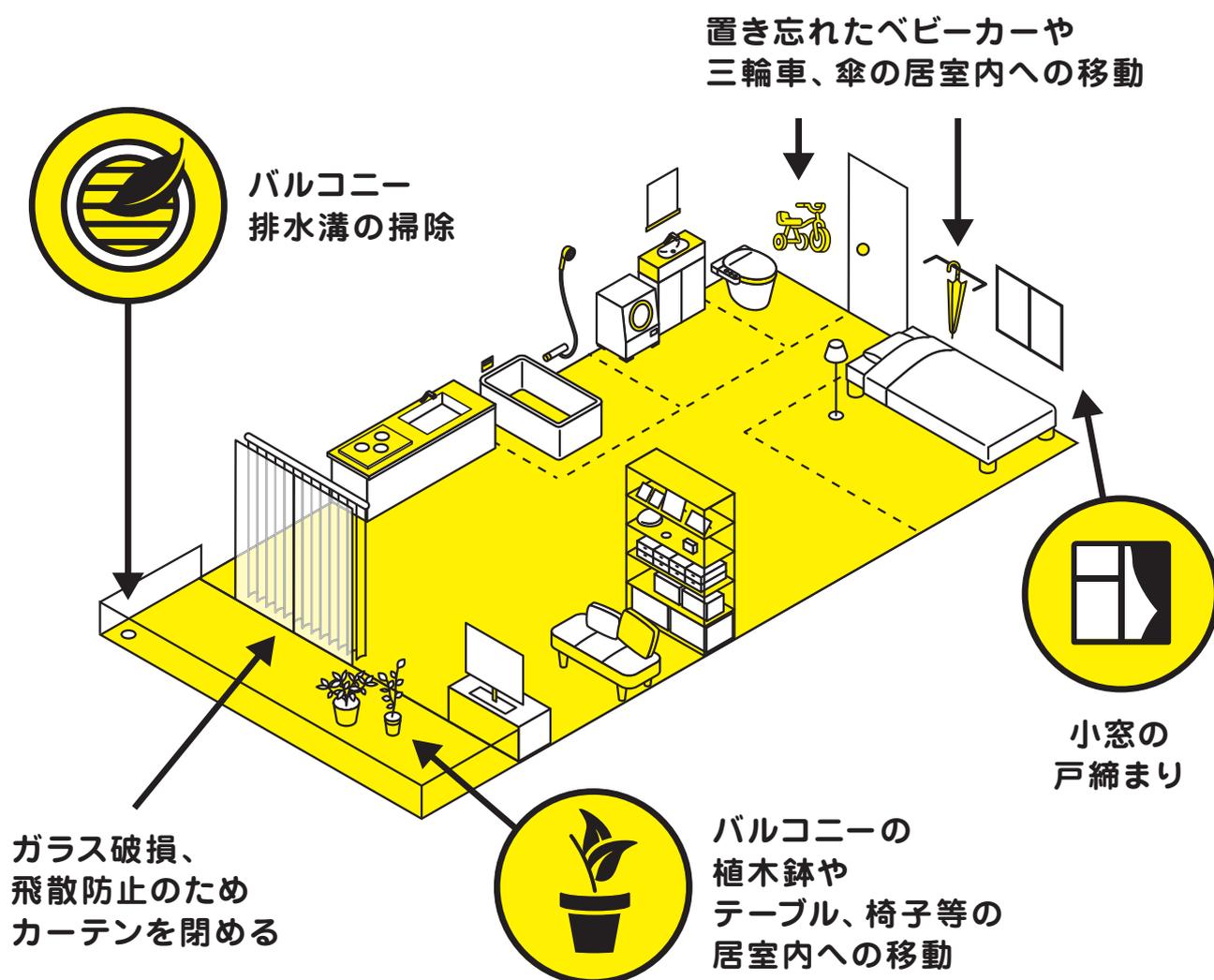
その他

- ▶ 災害や被害の規模により、緊急の修繕が必要になる事や判断を迫られる場合がありますので、事前に権限の範囲を管理規約で確認しておきましょう。
- ▶ まとめ役、まとめ役補佐、各係は、災害発生時にマンションにいた方から選出しますが、その後に適任者が帰宅できた場合は、引継ぎを行った上で交代しても結構です。



台風・集中豪雨に 備えて！

台風（集中豪雨）が近づいています。
被害を最小限に留めるために、各家庭でできる対策をお願いします。



エレベーター 停止中



大規模災害によるエレベーターの
不慮の停止と閉じ込め事故に備え、
エレベーターを一時停止しております。
たいへんご不便をおかけしますが、
マンション内の移動は共用階段をご利用ください。

駐車場 利用制限中



台風（集中豪雨）による機械式駐車場ピット内への冠水による車両の被害を防止するために、パレットを上げております。たいへんご不便をおかけしますが、お車のご利用はお控えください。また、お車で帰宅された方は敷地内の空きスペースまたは近隣の時間貸し駐車場等をご利用ください。

ガスメーターの 復帰方法

震度5強相当以上の地震を感知するとガスは自動的に遮断されます。
復帰は手動で行う必要がありますので、以下の手順で復帰してください。

1 ご家庭内のすべてのガス
機器を止める

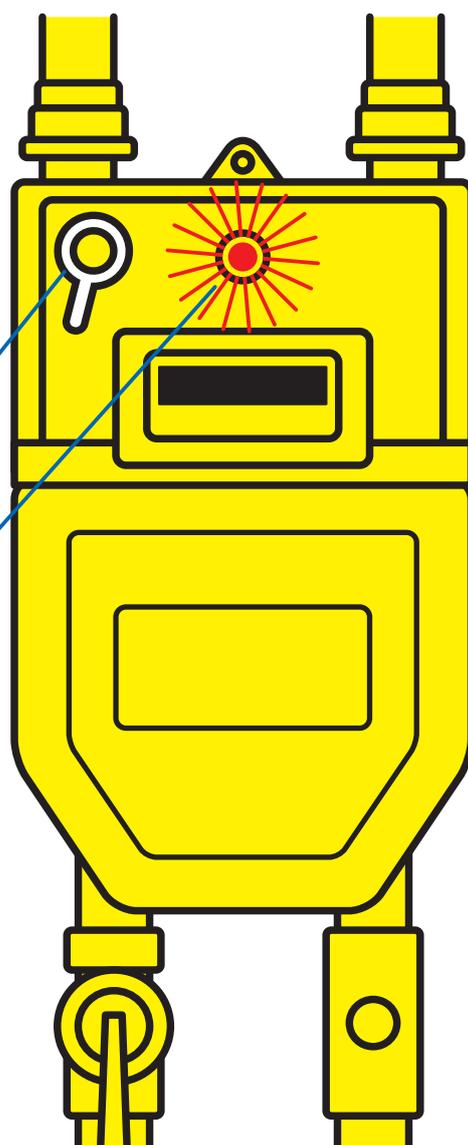
2 ガスメーター（玄関脇や共
用廊下のメーターボックス
内に設置されています）の
復帰ボタンのキャップを
左に回して外す

3 復帰ボタンを奥まで押し
込み、2秒間押し続ける

（赤いランプが点灯後、点滅
します）

4 3分後、赤いランプが消え
たことを確認できたらガ
スが使えます。

【注意】 ガス会社によりメーターの形態、
操作方法が異なる場合があります。



棟名 _____

安否確認シート

事前に必要枚数分を
コピーしてご用意ください。

階数	住戸番号	人数	状況	確認日時	確認者
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	
			要援 ・ 未確 ・ 無事 () () ()	日 :	